

私は統計学の専門家ですが、趣味のピアニストとしてピアノを愛しています。

非常に幅広い層の出場者と審査委員を受け入れた、当コンクールに関与する機会を頂いたことを光栄に思います。

コンクールの入賞者選出の方法に良くある問題は、「審査員と出場者の間に以前から何らかの関係があり、客観的に評価ができないと感じ」棄権票が投じられることです。また今回の場合は特に、審査委員が出場者の一部を聴かない（聴けない）という問題もあります。このように不投票がある場合に単純に「平均」を取ることは間違っています。公正な結果を割り出すために、「不完全な投票をどう扱うか?」。これはとても大事なことです。幸いにも統計学の「離散選択モデル」にはこのような場合に適用できる、数学的に厳密な方法が幾つかあります。我々のコンクールでは、私の「爆発」ロジスティック回帰分析モデル（順位付けロジスティック回帰分析）を適用し、不完全当票の審査票を補完矯正し、出場者のランクを決定しました。私の知る限りでは、我々のコンクールはそのようなモデルを採択した初めてのコンクールです。

将来的にこの手法が多くのコンクールに適用されることを願っております。

フレッド・ファインバーグ (Fred Feinberg) プロフィール

ミシガン大学、ロス・ビジネススクールマーケティング教授。および、統計学部教授。

「ビッグ・データ」の分析を専門とし、不確実環境における消費者の意思決定モデルの研究など、マーケティング領域における様々な統計学モデルを開発している。